



お詫び
以前に配布したチラシの右上のQRコードに間違いがありました。改めて差し替えましたので、こちらをご参照ください。

Transferable Skills
RISE @NWU
Research
Intelligence
Social relation
Effectiveness



↑QRコードを差し替えました

大学院生の強み = トランスファラブルスキルのページ

https://cdpd.nara-wu.ac.jp/nwu_transferable_skill/

文部科学省が推奨する*、大学院生の強み=トランスファラブルスキル (Transferable Skills = 研究で培われる転用可能な能力) の見つけ方や身につけ方をご紹介します。
大学院の授業や日常の研究活動の中から自分の強みを見つけてインターンシップや就職活動で発揮しましょう！このスキルを意識することで、さらなる研究の面白さに巡り会うかも！
*<https://www.mext.go.jp/kaigisiryoo/content/000033161.pdf>

《入門編》 →→ 成績表で自己分析！ 履修科目から知るトランスファラブルスキルRISE (TS-RISE)

- あなたの受けた科目もトランスファラブルスキルとつながっています
各専攻の科目とRISEの対応表や、科目数を記入して (任意で) 指導教員にコメントをもらえる確認票も上記サイトからダウンロードできます。

《応用編》 →→ 日常の研究活動を仲間とor自分で分析！ トランスファラブルスキルTS-RISEの活用例

- TS-RISEは大学院生の就活の武器になる
- TS-RISEを研究上の目標設定のガイドに

あなたの研究で得た、考え方や取り組み姿勢をわが社で活かしてください。



うわっ、やっぱりRISEのスキルって企業さんに刺さるんだ！！

好きで選んだテーマだけど、研究スキル (やり方) を意識してみると、研究成果への道筋が見えてきたような気がする。研究って面白い！



C-ENGINE は産と学の交流をとおして
イノベーションを創出できる人材育成をめざす大学・企業のコソニアムです

学生が身につけるべきトランスファラブルスキル R I S E
トランスファラブルスキルRISEは、研究者として自立するためのスキルセットであり、大学や企業など、どこにおいても有効に活用されます。これは研究を通じて培われ、再発見・意識されることで、今後のキャリア/IXに活かすことができます

Research governance and organisation 研究遂行に関するスキル	Intelligence and knowledge 知識・知的能力	Social relationship 他者や社会との関係に係るスキル	Effectiveness 自己開発に係るスキル
R-1 安全、コンプライアンス意識および情報管理技術 ・健康、安全、法令遵守・研究倫理等の重要性が理解できる ・研究者としての情報管理、技術、知的財産権、秘密保持などの契約関係について理解し、高い意識を持つことができる	I-1 理論的知識、情報収集力、数学の応用力、語学力・文章読解力 ・課題解決に必要な基礎知識を有し、必要な情報を収集することができる ・数理解科学的知識をベースに数値化できる	S-1 チームワーク、他者との協働 ・チームの戦略・目標、役割分担を理解し、協働できる ・他のメンバーの強み・弱みを理解し、意思疎通を図ることができる	E-1 研究への取り組み姿勢 ・強みと弱みを自覚して、研究に活かすことができる ・熱意、持続力、忍耐力、責任感、主体性、専門家としての矜持を持って行動できる
R-2 研究の基本的な進め方 ・研究の目的、意義を理解して、課題設定を行い、研究を取り巻く諸事の影響に配慮しながら研究計画を立てることができる	I-2 分析/統合力、論理的思考力、問題解決力 ・課題解決力、論理的思考、分析・統合力等を駆使して研究・開発を遂行できる	S-2 コミュニケーション能力 ・研究遂行にあたって研究内外および異分野の関係者の理解を得ることができる ・様々な情報伝達手段を用いて十分な議論ができる	E-2 自己管理、時間管理 ・目的を達成するために明確な研究計画を立て、効果的な時間管理を行える ・ストレスマネジメントとワークライフバランスを考慮して自己管理ができる
R-3 資金管理・調達 ・研究を進め、おまじ、事業を行うにあたっての資金管理、調達の仕組み、実態の理解ができる	I-3 洞察力、探究心、結論展開力 ・自らの経験を活かし、新しいアイデアと裏付けとなる根拠を提示して、社会にインパクトを与える、画期的/創造的な議論ができる	S-3 研究結果の社会への還元 ・研究結果を社会に実装するプロセスを理解できる ・社会的利益を生み出す可能性のある新製品開発や既存の研究の新しい活用法について考察・発案することができる ・グローバル展開の重要性が理解できる	E-3 キャリア開発、専門能力開発 ・専門的能力の持続的開発が必要であることを認識している ・経験を分析的に振り返り、自己改善のサイクルを追求する ・キャリアプランを描くことができる ・幅広い研究コミュニティ内で、信頼関係に基づき協力的なネットワークを構築する

RISEの各項目とその内容は、Visio® Research Development Frameworkを参考に作成しました。
一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE)

RISEは4×3=12に整理されたスキルの一覧で、産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE) が策定したものです。
より詳しい「具体例付きのシート」も上記サイトからダウンロードできます。「強み」の言語化にお役立てください。

お問合せ：(入門編) 奈良女子大学
学務課大学院係 TEL 0742-20-3208
(応用編) 男女共同参画推進機構
キャリア開発支援本部
E-mail career-k@cc.nara-wu.ac.jp
TEL 0742-20-3572 @G棟4階 G406